

株主のみなさまへ

第102期 中間期

2025年4月1日～2025年9月30日

「はたらき」を化学する。
"Performance" Through Chemistry



社長メッセージ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、中国市況の悪化に加え、米国関税政策の影響による国内自動車産業の減速などからの間接的な影響についても、引き続き注視が必要な状況となっています。このような状況を踏まえ、2025年度の業績予想は営業利益100億円とし、新中期経営計画2025における目標値である営業利益150億円の達成時期を見直すこととしたが、一方で、中計2025で掲げた高付加価値製品の拡充やサプライチェーン全体の改革等の施策をさらに推進することにより、筋肉質な企業体質へと順調に変化しつつあることを実感しています。

事業ポートフォリオの改革への取り組みにより、現在の営業利益に占める高付加価値製品群の割合は約6割になりました。今後は、基盤事業から中長期的な成長を牽引する製品を創出するべく、高付加価値製品群のラインナップ強化に一層注力します。

新規事業については、5～10年後に事業の柱の一つとなりうるアイテムとしてシルクエラスチン®や匂いセンター、ペプチド農業などの事業化を進めています。

グローバル展開については、独自技術による高品質な製品を日本市場で培ったノウハウを活かして海外市場へ主体的に供給していくことで、“グローバルでユニークな高収益企業に成長する”を実現させる考えです。

事業環境が大きく変化している中で、構造改革をさ



らに加速させ、次期中期経営計画につなげていきます。そのための施策の一つとして生産設備改革プロジェクトを立ち上げ、基盤ビジネスの製造原価の低減に取り組みます。また、顧客のニーズに応えて新たな価値を創造するため、「全部署がプロフィットセンター」であるとして社内に収益意識を高め、「挑戦を後押しする企業風土」の醸成にも努めます。

引き続き「WakuWaku経営」の推進により“全従業員が誇りを持ち、働きがいを感じるグローバルでユニークな高収益企業に成長する”ことを目指してまいります。

株主のみなさまには、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

代表取締役社長

不破章憲

■『新中期経営計画2025』や持続的な成長に向けての取り組み等の詳しい情報

当社ホームページのサステナビリティサイトをご覧ください。(https://www.sanyo-chemical.co.jp/sustainability/)



マルチステーク ホルダーとの 価値共創

ステークホルダーのみなさまと連携しながら、経済的価値と社会的価値とともに向上させて、将来にわたつて持続的な成長を目指します。

社会環境 大阪・関西万博への出展

○ 関西パビリオン京都ゾーンでの展示

当社は、大阪・関西万博 関西パビリオン京都ゾーン「環境・SDGs」ウィークスにおいて、「京都超SDGsコンソーシアム」のメンバー企業として、「EXPO KYOTO超SDGsみらいラボ」に展示を行いました。繰り返し使えるサステナブルな日本の伝統アイテム「ふろしき」で、参加各企業・団体が大切にしている技術や知恵、理念などを包むユニークな展示で、当社は事業を通じて目指す未来社会を、分子構造を模したオブジェで表現し、「現在」を描いたオリジナルのふろしきに包みました。球体のカプセルの中には、「化学のちからで化学の枠を越えてイノベーションを起こす」ことを目指す当社が想う未来のうち、5つの分野（再生医療、化粧品、匂いセンサー、エネルギー、農業）を表現しています。



関西パビリオンへの展示物
(展示期間：8月4日～10日)

○ 「TEAM EXPOパビリオン」にMOC-TEX展示

子会社のサンノプロ株式会社は、大阪・関西万博 TEAM EXPOパビリオンにおいて、ケイ・マック株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：音成 俊博）・上田安子服飾専門学校（大阪市北区、校長：田島等）と三社で共創展示【森から生まれた新素材 産学共創チャレンジ】を行いました。サンノプロが開発したMOC-TEXは、活用が進まない国産の未利用木材をアップサイクルした環境配慮型テキスタイルで木材由来の吸放湿性・消臭性を有しつつ、本革の見た目や柔軟な質感を再現させた高機能素材です。会場では、上田安子服飾専門学校の学生による「MOC-TEX製ジャンパー」（モクジャン）のデザインコンテストで選ばれた優秀作品のほか、帽子やサンダル、パスケースなどを展示しました。



MOC-TEXを使用した帽子、モクジャンなどを展示
(展示期間：9月22日～28日)



株主、投資家

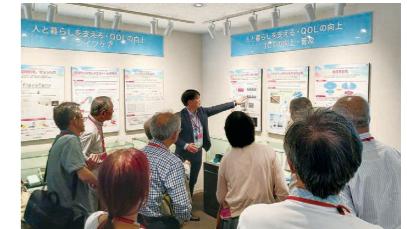
統合報告書の発行、株主見学会の開催

○ 三洋化成グループ統合報告書2025を発行

ステークホルダーのみなさまに当社グループがこれから進む方向性と考え方、およびそれに基づく戦略を報告することを目的に「三洋化成グループ統合報告書2025」を発行しました。この統合報告書2025の発行によって、投資家をはじめとするステークホルダーのみなさまとの建設的な対話の機会をいただくことができれば幸いに存じますので、ぜひご覧ください。

○ 「第3回 株主様向け桂研究所見学会」を開催

2025年9月29日と10月29日に、約60名の株主様（同伴者を含む）を当社の価値創造基盤である桂研究所にお迎えし、見学会を開催しました。当社の研究開発の取り組みをご紹介するとともに、当社を育んだ京都および研究所隣の都市文化特性にも触れていただきました。今後も価値創造プロセスのパートナーである株主のみなさまとの対話の機会を継続して企画してまいります。



桂研究所の製品紹介ギャラリーにて

■ 統合報告書2025

当社ホームページの「レポートライブラリー」ページをご覧ください。（<https://www.sanyo-chemical.co.jp/sustainability/library/>）



新たな成長軌道

シルクエラスチン®、PFASフリー光酸発生剤、E-Axle用アクループ

○ シルクエラスチン®半月板再生材用途で企業治験を開始

当社と広島大学病院らの研究グループは生体組織の修復・再生を促進する機能性タンパク質「シルクエラスチン®」を用い、半月板損傷治療における有効性と安全性を検証するための企業治験を開始しました。本治験は広島大学病院ほかで実施され、良好な結果が得られれば半月板の温存・修復・再生を可能にする材料として薬事承認を取得し、製品化を目指します。従来治療に対して新たな選択肢を提供することで、患者様のQOL(生活の質)向上に大きく貢献することが期待されます。



樋口社長（左）、広島大学整形外科学の安達教授（中央）
川端プロジェクトリーダー（右）

○ PFAS*フリーのガリウム系光酸発生剤を本格展開

子会社のサンアプロ株式会社は、同社が提供するガリウム系光酸発生剤を環境対策型材料として改めて位置づけ、ラインナップを拡充しました。今後、スマートフォンのディスプレイや車載カメラなどの光学・電子部品など、関連産業への提案活動を強化していきます。この材料は従来、業界で広く使用されてきた高性能なアンチモン系光酸発生剤と同等以上の性能(UV硬化性、透明性、耐熱変性)を実現しながら、アンチモンやPFASを含まない点が大きな特徴です。当社グループは、環境規制の強化と市場のニーズに応える本材料を通じて、サステナブルな産業の発展に貢献してまいります。

*PFAS：ペルフルオロアルキルおよびポリフルオロアルキル化合物の総称。撥水性・耐薬品性に優れますが、分解されにくく環境残留性が高いため、国際的に規制対象となっています。

○ 電気自動車駆動ユニット向けポリマー添加剤の開発

電気自動車（EV）の駆動ユニット「E-Axle」向けに、耐摩耗・耐焼き付きポリマー添加剤『アクループ NS-100』を新たに開発しました。この添加剤は、これまで培ってきた有機ポリマー技術を生かし、EV向け潤滑油（E-フルード）の低粘度化に伴う油膜の薄化を防ぎ、摺動部や機械部品に対して優れた耐摩耗性および耐焼き付き性を発揮します。さらに、耐銅腐食性（銅に対して腐食性が低い性質）や電気絶縁性、酸化安定性といったE-フルードに求められる多面的な性能も兼ね備えており、E-Axleの高耐久化とEVの航続距離延伸・電費向上に大きく貢献します。

■ 最新的のプレスリリース情報等

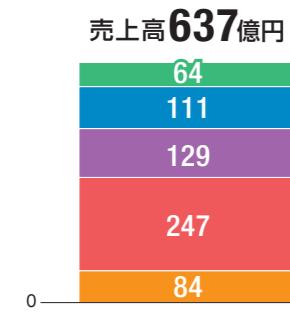
当社ホームページの「TOPICS」ページをご覧ください。（<https://www.sanyo-chemical.co.jp/topics/>）



分野別事業紹介

Business Overview

売上高構成



生活・健康産業 関連分野

売上高 84 億円 / 営業利益 △1 億円



【生活・健康】高吸水性樹脂事業からの撤退に伴い、売上高が大幅に減少。

- 洗剤・洗浄剤用界面活性剤
- ヘアケア製品用界面活性剤
- 医薬品原料



石油・輸送機産業 関連分野

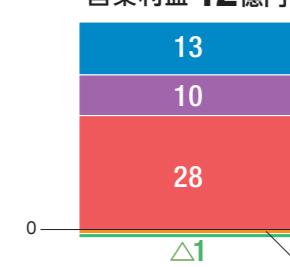
売上高 247 億円 / 営業利益 28 億円



【石油】潤滑油添加剤の需要は堅調に推移しているものの、前年同期に一時的な需要増があったことにより、売上高は横ばい。
【輸送機】自動車シートなどに使用されるポリウレタンフォーム用原料が海外安価品の攻勢により事業環境の厳しさが増したことで、国内外向けともに低調となり、売上高は減少。

- 潤滑油添加剤
- ポリウレタンフォーム用原料
- 自動車内装表皮材用ウレタンビーズ

営業利益構成



※各報告セグメントには、新規事業に係る研究開発費△6億円を含んでおりません。

- 生活・健康産業 関連分野
- 情報・電気電子産業 関連分野
- 石油・輸送機産業 関連分野
- 環境・住設産業 他
- プラスチック・繊維産業 関連分野



プラスチック・繊維産業 関連分野



【プラスチック】永久電解防止剤の需要が回復し堅調に推移しましたが、塗料・コーティング用薬剤が低調に推移したことから、売上高は減少。

【繊維】自動車内装向け合成皮革用・弾性繊維用ウレタン樹脂の需要は回復したものとの、風力発電用風車向けの炭素繊維用薬剤が低調となり、売上高は減少。

- 永久電解防止剤
- 樹脂改質剤
- 塗料用樹脂
- 炭素繊維用薬剤
- 顔料分散剤
- トナーバイNDER
- アルミ電解コンデンサ用電解液
- 電子部品製造工程用薬剤



情報・電気電子産業 関連分野



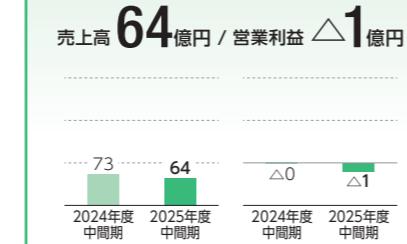
【情報】重合トナー用材料が中国での生産事業からの撤退等により低調となりましたが、トナーバインダーの需要が回復傾向にあり、売上高は横ばい。

【電気電子】アルミ電解コンデンサ用電解液がEV市場の回復遅れにより低調に推移しましたが、先端半導体市場が堅調に推移したことにより関連材料が売上上げを伸び、売上高は増加。

- 重合トナー用材料
- トナーバインダー
- アルミ電解コンデンサ用電解液
- 電子部品製造工程用薬剤
- 家具・断熱材用ポリウレタン原料
- 建築シーラント用原料



環境・住設産業 他



【環境】高分子凝集用のカチオンモノマーが復調気配であるものの、重金属固定化剤の需要低迷により、売上高は低調に推移。

【住設】家具・断熱剤などに用いられるポリウレタンフォーム用原料が海外安価品の攻勢により事業環境の厳しさが増したことで、売上高は大幅に減少。

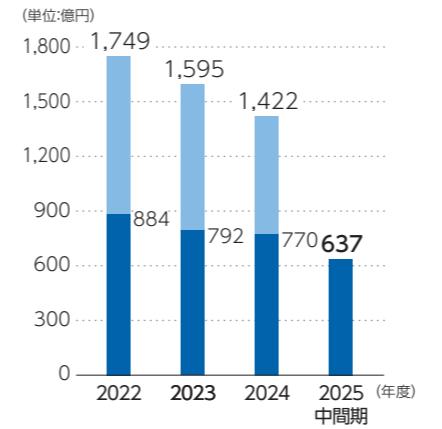
- 家具・断熱材用ポリウレタン原料
- 建築シーラント用原料

財務ハイライト(連結)

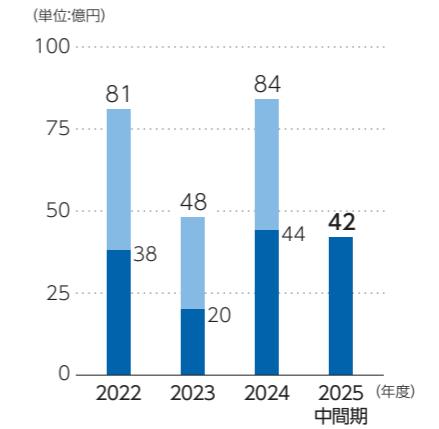
Consolidated Financial Highlights

■ 中間期 ■ 通期

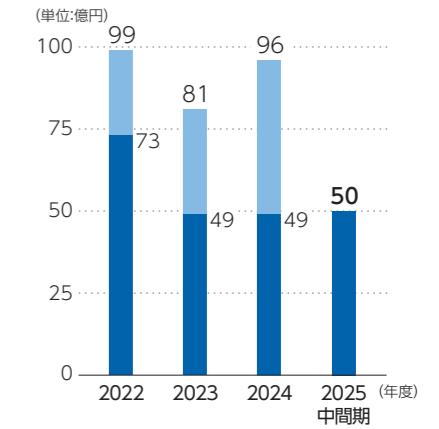
売上高



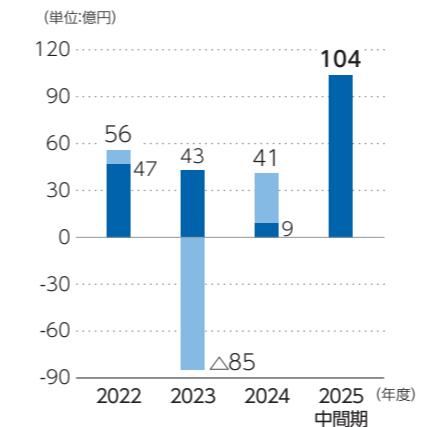
営業利益



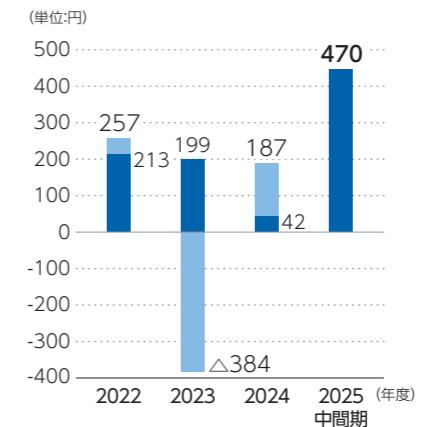
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



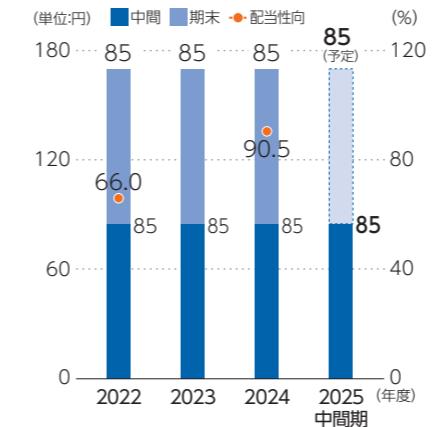
1株当たり当期純利益



総資産・純資産・自己資本比率

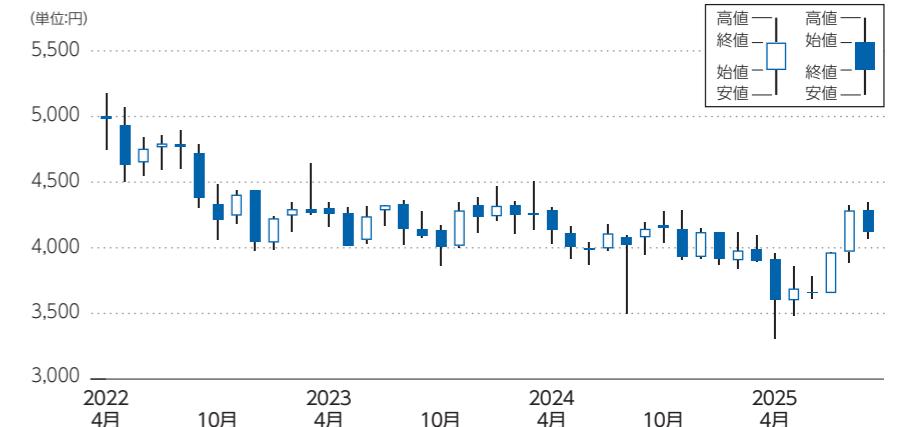


配当金・配当性向



*2023年度は親会社株主に帰属する当期純利益がマイナスのため配当性向の算定は不可。

株価



三洋化成株主・投資家情報のご案内

詳しい財務データ等は、当社ホームページの「IR」ページをご覧ください。(https://www.sanyo-chemical.co.jp/ir_info)



会社概要/株式の概況

Information

概況

(2025年9月30日現在)

| | |
|------|------------------|
| 創立 | 1949年11月1日 |
| 資本金 | 13,051,179,427円 |
| 従業員数 | 1,274名(連結1,669名) |
| 関係会社 | 国内7社、海外11社 |

株式情報

(2025年9月30日現在)

● 株式総数および株主数

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 51,591,200株 |
| 発行済株式総数 | 23,534,752株 |
| 株主数 | 12,143名 |

● 株主構成(持株比率)



● 大株主

| 株主名 | 株式数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 豊田通商株式会社 | 4,286 | 19.2 |
| 東レ株式会社 | 3,826 | 17.2 |
| 日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口) | 1,819 | 8.2 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 1,493 | 6.7 |
| ENEOSホールディングス株式会社 | 832 | 3.7 |
| 株式会社日本触媒 | 755 | 3.4 |
| 三洋化成従業員持株会 | 585 | 2.6 |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 | 300 | 1.3 |
| THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042 | 175 | 0.8 |
| MSIP CLIENT SECURITIES | 165 | 0.7 |

(注) 1. 上記のほかに、自己株式1,258千株があります。

2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除して算出しております。

多様性の尊重 働きがいを感じる職場環境づくりを目指して

当社は、すべての従業員が自分らしさを大切にしながら、安心して働くことができる会社を目指し、働き方改革やDEI (Diversity=多様性、Equity=公平性、Inclusion=受容) 推進の取り組みを進めています。

TOPICS テレビ番組で当社の開発品や事業などが紹介されました。

2025年7月27日放送のBS朝日「開局25周年記念 ウェルビーイングスペシャルここまで治る 未来医療のフロンティア～宇宙、AI、iPSが変える命の物語～」で、当社が開発中のシルクエラスチン®の特長や今後の展望が取り上げられました。また、2025年8月24日放送のTBSテレビ「応援! 日本経済 がっちりマンデー!!」で、「儲かる成分」をテーマに、当社の界面活性剤が紹介されました。テレビ大阪で平日の夕方に放送中の「やさしいニュース」でも、働き方改革やエビの陸上養殖の特集において、当社の取り組みが紹介される場面がありました。今後も、さまざまなメディアを通じて当社の活動を発信し、より多くの方に当社の取り組みを知っていただけるよう努めてまいります。



三洋化成工業株式会社

本社: 〒605-0995 京都市東山区一橋野本町11-1
TEL: 075-541-4312 (コーポレート・ガバナンス部ダイヤルイン)



レスポンシブルケア



ミックス
紙! 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C022915



GREEN PRINTING JAPAN
P-A10007
この印刷製品は、環境に配慮した
素材と工場で製造されています。



VEGETABLE
OIL INK

